

第2回菱野団地再生計画推進協議会 議事録（要旨）

日時：令和2年10月1日（木）午後1時30分～

場所：瀬戸市役所 全員協議会室

1 開会

- (1) あいさつ
- (2) 委員の紹介

2 令和元年度の取組み実績状況（資料1）

- 資料説明
 - ・ 事務局からの説明
- 高齢者健康運動プログラムについて鈴木委員より説明
 - ・ 瀬戸市（高齢者福祉課）、NPO 法人瀬戸地域福祉を考える会まごころ、スポーツメーカーのミズノ、玉野総合コンサルタント、名城大学鈴木研究室が協働でクラウドファンディングを用いた高齢者向けの健康増進プログラムを計10回実施した。
 - ・ 毎日歩数計の結果を記録していただいたほか、初回と最終回にアンケート及び、体力測定を実施し、効果の検証を行った。
 - ・ 参加人数は36名、平均年齢は75歳ぐらいという結果となった。また、クラウドファンディングについて、目標金額を100万円と設定し、8月23日から9月23日の1か月間で募集をした。75名の方に支援をいただき、目標金額を達成した。プログラムの内容としては、基本的に自重トレーニングによる姿勢の安定、柔軟性を高めることを目的としている。
 - ・ 体力測定の結果は最初（プログラム前）と比べ、最後（プログラム後）は様々な項目で改善が見られた。また、歩数計による歩行量調査に関しては、全国平均を大きく上回る結果となった。
 - ・ アンケートの結果をみると、運動頻度は大きく増加した。また外出手段は歩行が増加し、自家用車が減少するという結果となった。それから、生活満足度に関する項目が大きく改善されたことから、運動頻度が増加すると生活の満足度にも関わるということを感じた。
 - ・ まとめとしては、プログラムの直接効果としては、健康の改善であるが、このことから波及して、ケガや病気の減少を通じた医療費の削減、あるいは介護リスクの低減といった効果が期待できると言える。
 - ・ クラウドファンディングの効果としては、認知度が増すことや、取り組みを広げていくといった効果が期待される。
- 大秋委員からの補足説明

- ・ クラウドファンディングの75名に加え、25名の方からも個人的な寄付をいただいた。クラウドファンディングによって地域の方に取り組みを知ってもらえたことがよかった。

● 質問・意見交換等

【高齢者の支援について】

- ・ 高齢者健康運動プログラムのように、今後も団地全体のいろいろな取り組みをつなぎあわせて、普段のお出かけを増やすようなことができればいいのではないか。
- ・ 名鉄バスでは、高齢者のお出かけ支援として、1か月間バスに乗り放題という格安のパスポート商品を出している。今後も高齢者の移動のための支援を継続的に行っていく予定である。

【わいわいフェスティバルについて】

- ・ わいわいフェスティバルにおいて、平成30年度より参加者が増加した要因と団地内外の参加者の内訳を教えてください。
 - 菱野台商店街の協力をいただけたこと、会場を1箇所から2箇所に増やしたこと、出店者数の増加とそれに伴う規模の拡大、住民バスの全面協力などが大きな要因であると考えます。
 - また、平成30年度のわいわいフェスティバルは、市の主導により開催したのに対し、昨年度は、みんなの会の伊藤会長が主体となって、地元の人たちを巻き込んで行えたことも大きな要因であると思う。

3 再生計画の目標達成状況（資料2）

● 資料説明

- ・ 事務局からの説明

● 質問・意見交換等

【菱野団地ホームページについて】

- ・ 写真が登録されておらず、作成途中のような状態となっているページがあるため、写真を追加するか、未登録のスペース自体を無くした方が良い。その他にも、記事の更新が止まってしまっているようなので、更新していけると良いと思う。
- ・ 誰をターゲットにしているサイトなのかを明確にして、必要な情報を絞って載せていく工夫があると良い。
- ・ どのような検索キーワードで閲覧者がホームページを見つけたのか、Google サーチコンソール機能などを使いながら深い分析ができると良いと思う。
- ・ 南山大学石川ゼミの学生が、瀬戸市の魅力を発信するホームページを作成しており、このホームページでは、瀬戸市全体の情報を取り扱っており、子育てや教育などに加え、カフェの情報など、若者向けの情報を紹介している。訪問者数は4万5千人で、多くの方にご覧いただいていることから、菱野団地のホームページとリンクでき

ると良いと考えている。

【人口について】

- ・ 人口増減の見方は大きく分けて2通りあり、出生と死亡による人口の差を見る自然増減と、転入と転出による人口の差を見る社会増減がある。瀬戸市全体の総人口は減少しているが、社会増減を見ると増加している。しかし、菱野団地は、総人口だけでなく、社会増減を見ても大きく減少している。このことから、社会増減を特に重視していく必要がある。さらに、世帯数も併せて見ていくと、より細かい状況がわかる。
 - 2015年度から2019年度にかけて瀬戸市全体の人口は、約1%減少となっている。それに対して、菱野団地の減少率は大きい。また、社会減に関しても、自然減と比べ圧倒的に多い状況となっている。
 - 菱野団地の中でも地区によって状況が大きく違うということも考えられるため、細かいレベルで見ていく必要がある。

【その他】

- ・ 愛知県の住みやすいまちランキングが発表されたが、瀬戸市の順位は思わしくなかった。どのような指標で評価をされていて、瀬戸市は何が足りていないのか、また菱野団地は何が弱いのかといったことを知りたい。
 - 今後必要があれば調査していきたいと思う。

4 令和2年度の取組みスケジュール（資料3）

● 資料説明

- ・ 事務局からの説明
- ハンズオン支援事業について、内閣府地方創生推進事務局から補足説明
 - ・ 今年度から内閣府は、全国各地の住宅団地再生のハンズオン支援を行う。今年度は、瀬戸市を含む7自治体を対象としている。
 - ・ 地域がどのような将来像を描いているのかについて共有しながら、必要な支援が事例紹介なのか、専門家の派遣なのか等、意見を聞きながら一緒に進めていきたいと思っている。

● 質問・意見交換等

【空き家対策について】

- ・ 空き家の調査が進むと、居住に困難を抱えている方で菱野団地の空家に住んでいた方が増えるのではないかと思う。また、最近では、団地内の戸建ての空家を取り壊されて新しく建て替えられているといったケースを見ることがある。そこに新たな方に入居していただくことで、菱野団地が活性化されることに期待を持っている。
 - 団地内の空家の状況について、事務局からの説明をいただく機会はあるか。
 - 次回協議会の開催時に、その時点で分かっている情報を共有させていただきたいと思う。

【環境デザイン夏期講座について】

- ・ 環境デザイン夏期講習でのまちづくりに関する提案が今年度の取組みの計画に反映されているか。
 - 環境デザイン夏期講座での提案の内容が、ハード面に関するものが多かったことから、具体的に今年度の取組みに反映しているというところは少ない。
- ・ ユニークな取組みの発想が多くあったが、その成果がまとめられたようなものがないので、検討することが難しいと思う。ただ、このようなユニークな取組みを実現できるよう、若い人たちを巻き込み、良い方向へ持っていけると良い。

5 その他

- 質問・意見交換等
 - ・ 特になし
- 今後の予定
 - ・ 第3回協議会は、今年度末の3月に開催する予定である。その際には、本年度の取組みと来年度の取組みの案についての意見をいただきたいと考えている。